

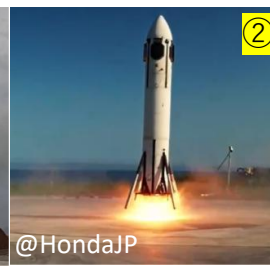
2026年7月14日

YACかわら版 730

洋上回収



①

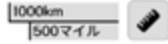


②

海南商業宇宙発射場



③



「中国、再使用可能ロケットで画期的な成果を報告...」とCNNは、7月10日に報じています。

北京 (CNN) 中国はキャリアロケット (運搬ロケット) の軌道投入試験において、ロケットの1段目を回収することに成功した。国営メディアが10日に報じた..... <https://www.cnn.co.jp/fringe/35250448.html>

長征10Bのブースター回収は、今回の「海上台船でのネット捕獲 (ほかく) 方式」だけが実証されています。海南商業宇宙発射場から打上げられた長征10Bの第1段が、6分後に約400キロメートル沖合に待機していた海上台船のネットに、4本のフックで引っかかる形で回収されました。④

ブースター回収については、本年4月19日には「ファルコンロケットとして通算600回目の着陸達成」と報じられていましたが、改めてブースター回収技術の意義を考える機会となりました。⑤

- ・ファルコン9は、なぜ陸上回収と海上回収の2つの方法を採用しているのだろうか。
- ・長征10Bの回収では、脚が採用されていない。
- ・長征10Bも、ファルコン9のようなフィンが方向コントロールにつかわれている。等々

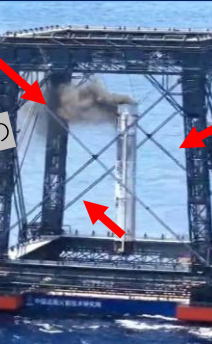
長征10B成功の次の日、JAXAの「RV-X」の飛行試験が、秋田県能代市の能代ロケット実験場で行われ、高度約11メートルからの着陸に成功しました。2016年からRV-Xは開発がすすめられていました。①

本田技術研究所は、2025年6月に北海道大樹町で自社開発した再使用型ロケット実験機の離着陸実験に成功しています。②

長征10B
高さ63m
直径5m
2段式



画像は
@CNSpaceflight



海南島での打上を撮影するために多くの見学者がスマホなどをむけています。

@peopledailyJP

ファルコン9
ブロック5
高さ70m
直径3.65m
2段式
画像は
@SpaceX

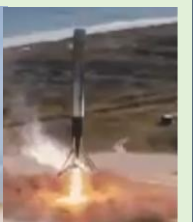
上昇



降下



陸上



海上



⑤